

令和4年度取組状況

ものづくり工学科

工学コース

一般科目

(職)准教:(氏名) 広瀬 義朗

取組状況	
教育	<p>1. 公民Ⅱの授業において、国税庁主催の「税の作文」に応募し、3100学生が品川税務署長賞(最優秀賞、高校生の部・品川区で2名)を受賞した。昨年度の3300学生に続いて2年連続の受賞。2. また同じ公民Ⅱの授業において、一般財団法人品川ビジネスクラブ主催、品川区共催の品川ビジネスコンテストに応募し、3400の6名が奨励賞を受賞。本授業では、3年ぶりのこと。3. 受賞できた要因として、前者は公民Ⅱの授業の中で税に対する話やグループワークを通じて税に対する興味を持たせるような取り組みを行った。また後者では、日本政策金融公庫で出張授業をお願いしており、銀行家が話す収支の考え方など参考になったに違いない。</p>
研究	<p>1. 本来今年度出版予定であった龍山会50周年論文集が延期となり、「カナダの2015年下院総選挙と財政－財政・経済・福祉政策を中心に」は次年度に持ち越しに。2. 財政研究部会で「我が国財政の持続可能性－カナダの財政再建を事例として－」を報告。その研究部会で論文執筆に至る足がかりをつけることができた。但し、内容については賛否両論あるため、現時点では論文を執筆中である。</p>
社会貢献	<p>例年と同じように、1. 財務省関東財務局東京財務事務所に出張授業をお願いし、日本の財政についての授業を提供できた。2. 日本年金機構品川事務所も同様に、11月の年金月間に本校にお越し頂き、年金セミナーの出張授業の機会を提供できた。3. 東日本大震災で被災された地方公共団体を表敬訪問し、職員の方や飯館村長と積極的に意見交換した。その際、私の専攻科担当科目「地域経済論」で学生が提案した被災地の地域振興政策を手渡すことができた。産業の復興に役立ててほしい。</p>